

令和6年度 いじめ防止等のための目標、取組内容、達成状況について

浜松市立気賀小学校

取組内容	回答者	調査結果 R6.11月本校独自実施 ・児童実態把握調査(485人回答) ・保護者実態把握調査(467人回答) ・本校職員実態把握調査(30人回答) R6.12月指導課実施 ・いじめ問題への取組総点検 (本校職員30人回答)	肯定的回答割合	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない	分からない	達成状況 A(80%以上) B・C(50%以下)	今年度の取組	改善策	学校運営協議会委員の意見
いじめの定義の理解	教員	あなたは、いじめの定義（「一定の人的関係」「心理的又は物理的な影響を与える行為」「心身の苦痛」）を正しく理解していますか。	96.7%	29 96.7%			1 3.3%		A	・いじめの定義については、職員室に掲示をしたり、会議等でいじめ対策コーディネーターが説明したりした。		【学校運営協議会委員の意見】 ・学校が「気賀小学校いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめの対応ができていないか「分からない」と答えた保護者が16%いる。これは、いじめ対応に該当しなかった児童の保護者の回答と考えられる。対応が不十分ということではないと思う。 ・保護者から教職員への相談体制が整っているかの結果についても上記と同じと思われる。 ・PTA総会にて、学校長が「気賀小学校いじめ防止基本方針」の説明を行ったが、参加者が少なかったことにより、浸透が不十分なのではないかと思う。 ・教職員、子供、保護者のコミュニケーションを増やすことが、未然防止につながる。
「学校いじめ防止基本方針」の取組	教員	あなたは、「学校いじめ防止基本方針」の計画に則った未然防止の取組（いじめの防止等に関する取組）を行っていますか。	100%	23 76.7%	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%		A	・学校のいじめ防止基本方針については、4月にHPに公開したが、保護者への浸透は十分ではない。	・見直した基本方針を、今年度同様に児童、保護者、地域住民に説明し、浸透を図る。 ・いじめに関する校内研修を年度当初に計画して、位置付ける。	
	教員	学校は、「気賀小学校いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめの未然防止や早期発見に努めるとともに、いじめが発生した際には迅速かつ適切な情報共有や組織的な対応をしている。	100%	18 60.0%	12 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
	保護者	学校は、「気賀小学校いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめの未然防止や早期発見に努めるとともに、いじめが発生した際には迅速かつ適切な情報共有や組織的な対応をしている。	77%	110 22%	256 52%	36 7%	10 2%	79 16%				
いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりの推進（いじめの未然防止）	教員	あなたは、いじめの未然防止に向けて、自分の役割を自覚して行動することができていますか。	100%	21 70.0%	9 30.0%	0 0.0%	0 0.0%		A	・いじめ対策コーディネーターは、対策や会議などの企画・運営を行った。 ・教職員版「はままつの教育いじめ対応の手引き」を研修で使用した。 ・いじめはいけないことだという意識は、児童・保護者・教員に浸透されている。 ・相談体制については、保護者の肯定的回答の割合は78%、児童の肯定的割合の回答は90.4%で、信頼関係の構築に努めてきた。	・「気賀っ子思いやり宣言」を、全校児童が書いて掲示する。 ・教職員に気軽に相談できる体制づくりに引き続き取り組む。	【学校関係者評価を受けて】 ・4月に保護者との教育相談を実施することで、保護者が教職員に相談しやすい体制を整える。 ・気賀っ子思いやり宣言を全校児童が書いて掲示する。
	教員	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている。	89%	4 13.0%	23 76.0%	2 6.0%	0 0.0%	1 3.0%				
	保護者	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている。	77%	117 24.0%	258 53.0%	116 24.0%	17 3.0%	19 4.0%				
	教員	学校は、子供が学習や心身、友人関係のことなどで困ったことがあれば、教職員に相談できる体制が整えられている。	96%	6 20.0%	23 76.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%				
	保護者	学校は、子供が学習や心身、友人関係のことなどで困ったことがあれば、教職員に相談できる体制が整えられている。	78%	122 25.0%	259 53.0%	51 10.0%	11 2.0%	48 10.0%				
	児童	先生は、私たちが学習や心や体のこと、友達関係のことなどで困ったことがあれば、相談に乗ってくれる。	90.4%	349 72.0%	89 18.4%	19 4.0%	11 2.2%	17 3.4%				
	教員	子供たちは、命の大切さや人権を尊重する心が育っている。	93%	1 3.0%	27 90.0%	2 6.0%	0 0.0%	0 0.0%				
	児童	私は、温かい言葉遣いや思いやりのある行動をし、よい友達関係を作ることができている。	88.7%	251 51.8%	179 36.9%	25 5.2%	15 3.0%	15 3.0%				
	児童	私は、命の大切さや人権を尊重する心が育っている。	92.2%	344 70.1%	107 22.1%	17 3.6%	8 1.6%	9 2.6%				
	児童	私は、きまりやルールを守ろうとしている。	89.8%	299 61.6%	135 28.2%	27 5.6%	10 2.0%	14 2.4%				
	児童	先生は、お互いを思いやる気持ちを大切にすることを教えてくれている。	93.8%	355 73.2%	100 20.6%	14 2.8%	4 0.8%	12 2.4%				
	児童	先生は、私たちの努力を認めたり励ましたりして、温かく接してくれている。	91.9%	342 70.5%	104 21.4%	23 4.8%	4 0.8%	12 2.8%				
いじめの早期発見	教員	あなたは、自校のアンケートや「はままついじめアンケート」の結果をいじめの発見に有効活用していますか。	100%	22 73.3%	8 26.7%	0 0.0%	0 0.0%		A	・「はままついじめアンケート」は、6月、10月、1月に実施した。実施後の個別面談の時間確保が課題である。 ・日頃からの子供とのコミュニケーションをとり、教師との接触頻度を増やすことを心掛けた。	・年間予定の中に面談の時間を確保しているが、それだけでは足りないこともあった。柔軟なスケジュール調整を行う必要がある。	
	教員	あなたは、子供との関わり・観察や個人面談をいじめの発見につなげていますか。	100%	23 76.7%	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%					
	児童	先生は、私たちの友達関係づくり（いじめの早期発見、解決）に努力してくれている。	89.5%	339 69.9%	95 19.6%	24 5.0%	8 1.6%	19 4.2%				
いじめを受けた子供に対する支援、いじめを行った子供に対する指導の体制・対応方針の決定、保護者との連携	教員	あなたは、いじめと疑われる行為を発見した場合、その場でその行為を止めることができますか。	100%	24 80.0%	6 20.0%	0 0.0%	0 0.0%		A	・どうしたらより良い解決策になるのか、子供や保護者の思いに耳を傾けることを主眼に置き、対応した。		
	教員	あなたは、子供や保護者の気持ちに十分寄り添い、傾聴しながらじっくり話を聞いていますか。	100%	20 66.7%	10 33.3%	0 0.0%	0 0.0%					
緊急会議の開催等、組織的対応を可能とする体制整備	教員	あなたの学校は、「校内いじめ対策委員会」でいじめの認知をし、組織的な対応ができていますか。	100%	26 86.7%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%		A	・校内いじめ対策委員会は、定例会を毎月1回、いじめと思われる案件が発生した場合は、都度開催した。		
いじめの事実関係の把握、いじめであるか否か、解消の判断の実施	教員	あなたは、いじめの解消に向けて、いじめを受けた子供、いじめを行った子供の気持ちを継続的に確認し、見守っていますか。	100%	24 80.0%	6 20.0%	0 0.0%	0 0.0%		A	・毎月1回開催される校内いじめ対策委員会で、いじめを受けた子供、いじめを行った子供のその後の様子について報告し、情報共有を図った。		
いじめの疑いに関する情報や子供の問題行動などに係る迅速な情報収集、適切な記録、情報の共有	教員	あなたは、事実（いつ、どこで、誰が、何を、どのように、なぜ『5W1H』）を聞き取り、その事実のみ（主観は入れない）を記録に残していますか。	100%	18 60.0%	12 40.0%	0 0.0%	0 0.0%		A	・被害児童、周辺児童、加害指導からの聞き取りを複数で実施し、事実確認を行った。情報は関係した児童の保護者にも連絡した。		
	教員	あなたは、いじめを受けた子供、いじめを行った子供の保護者に、いじめの事実関係や対応方針・経過をできるだけ早く、丁寧に説明していますか。	100%	23 76.7%	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%					